

# 症例1 婦人科

横山正俊

佐賀大学医学部産婦人科

# 症例：74歳，女性

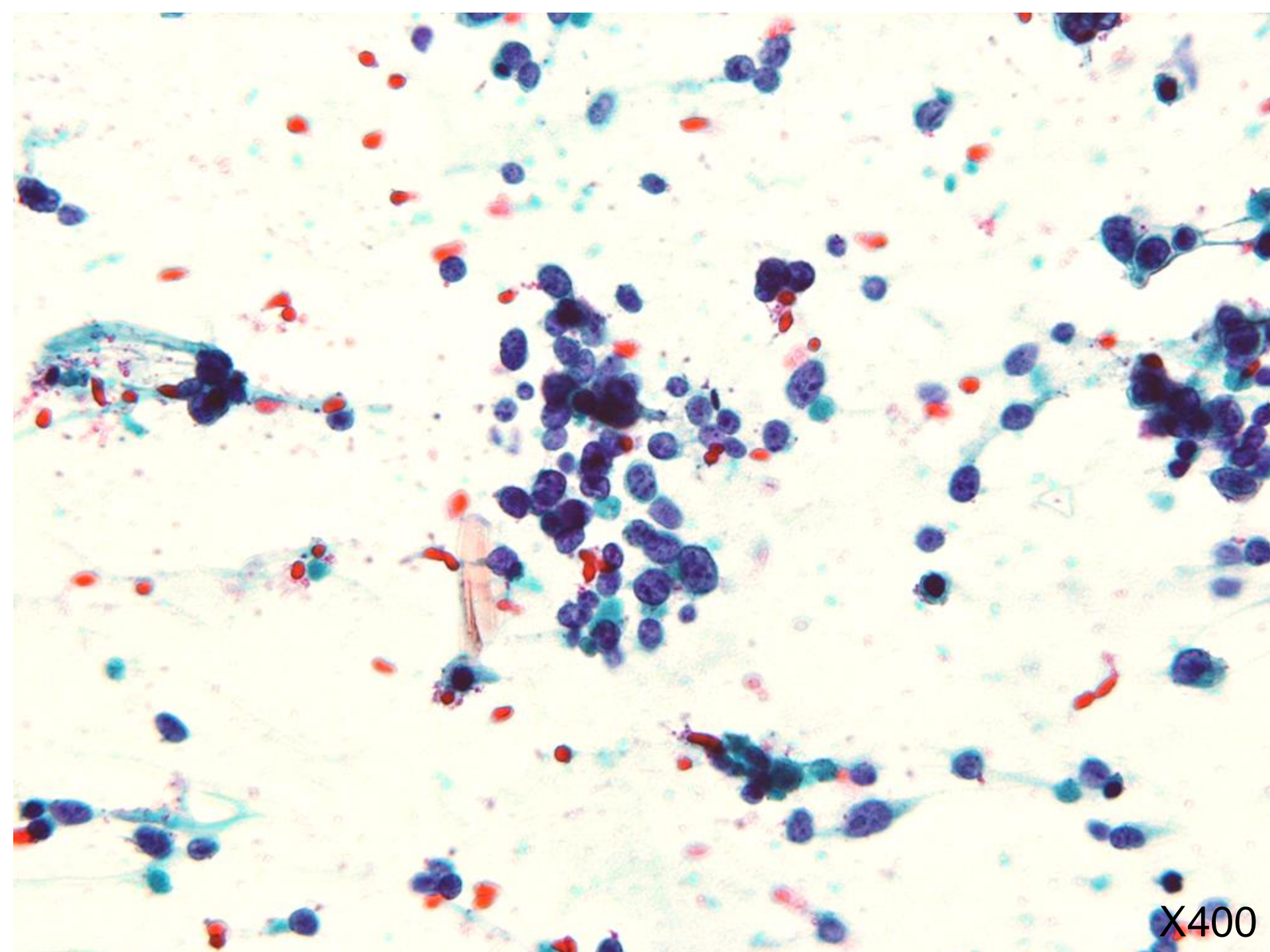
採取部位：子宮頸部

採取方法：綿棒

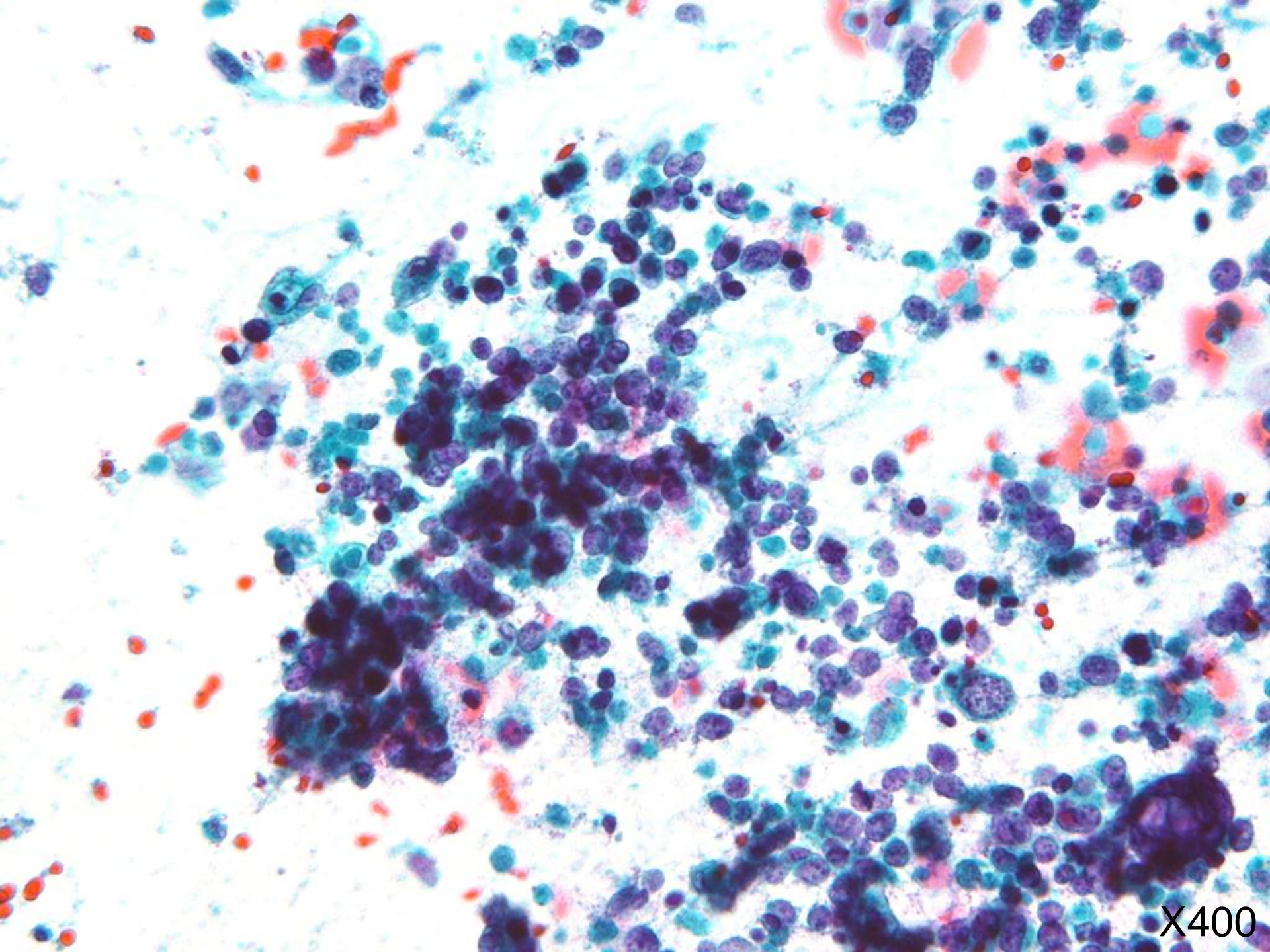
染色：パパンニコウ染色

現病歴：4経妊、2経産、閉経50歳

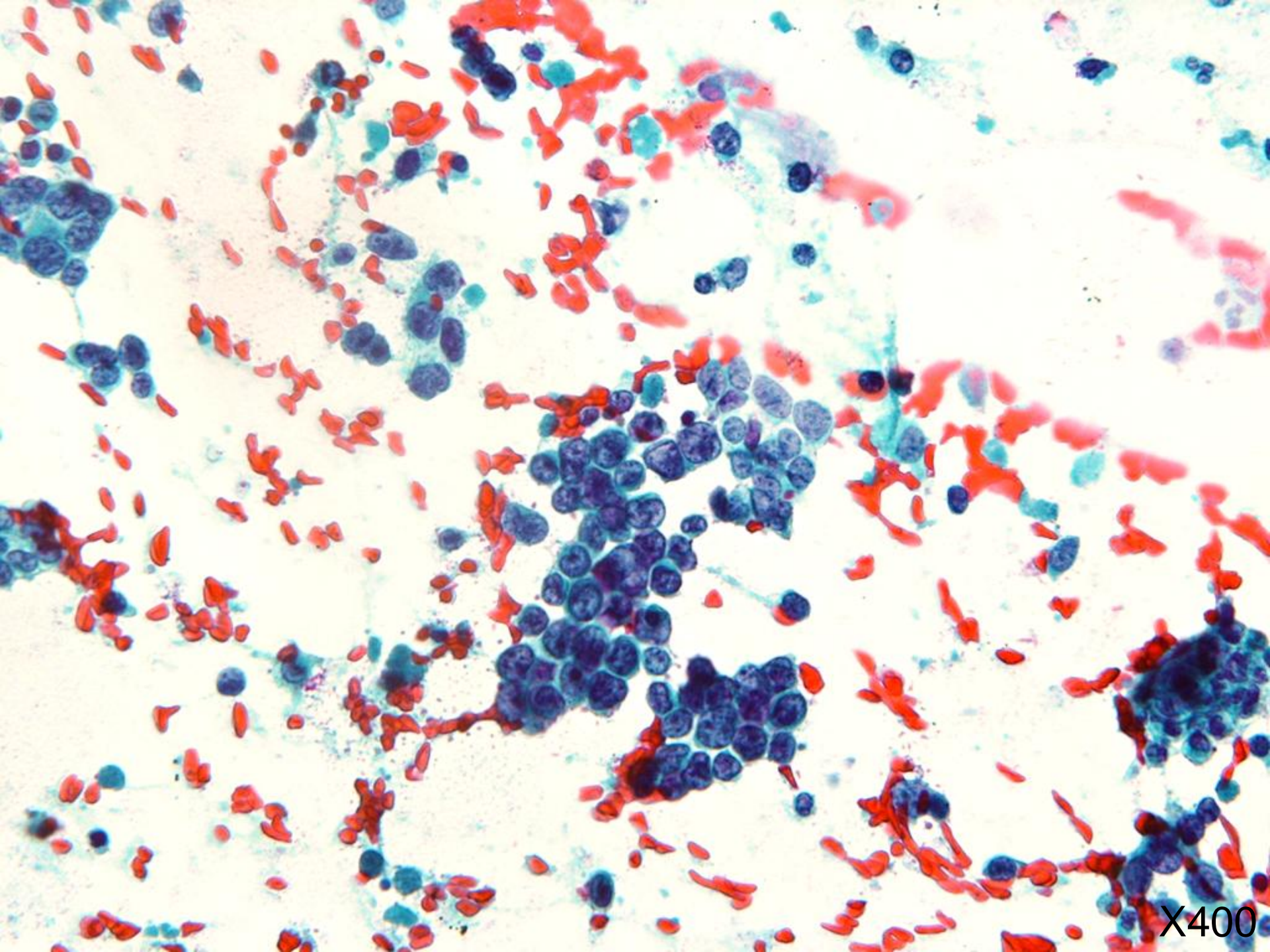
1ヶ月前から不正性器出血あり  
子宮頸部の腫瘍性病変を指摘され  
紹介受診。



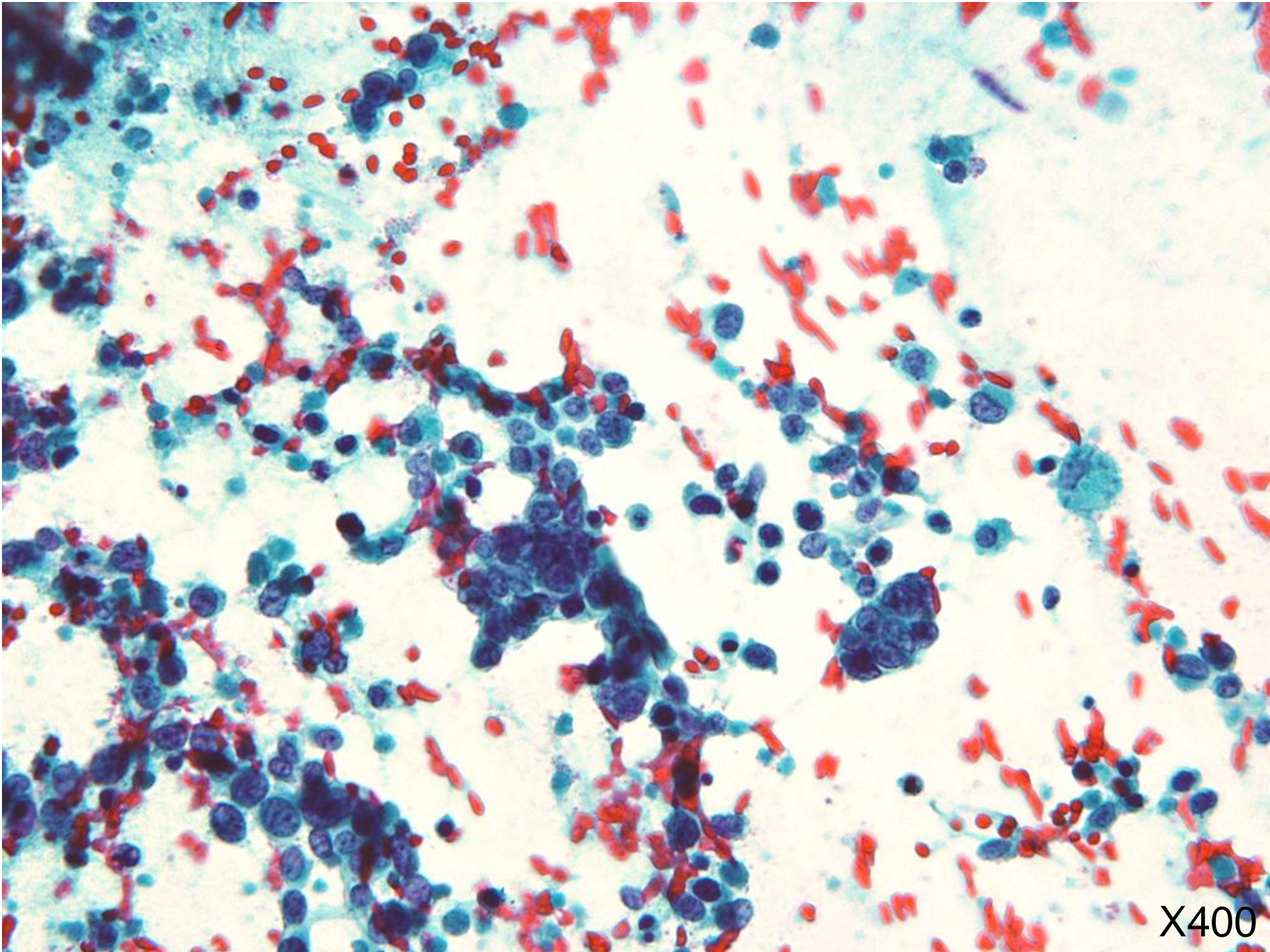
X400



X400



X400



X400

# 選択肢

1. 非角化型扁平上皮癌
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫
5. カルチノイド

# 解答

1. 非角化型扁平上皮癌
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫
5. カルチノイド

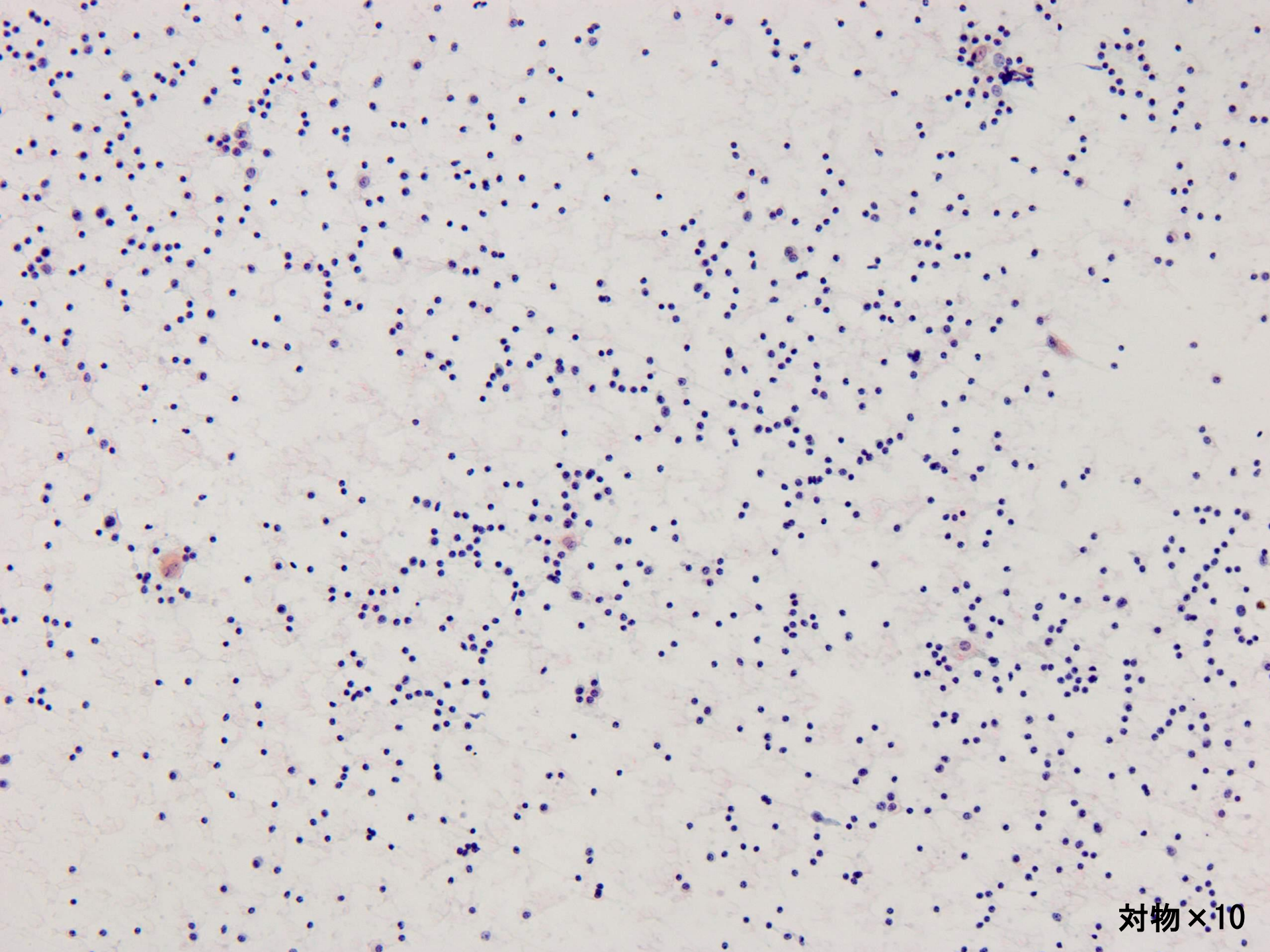


# 症例 2 呼吸器

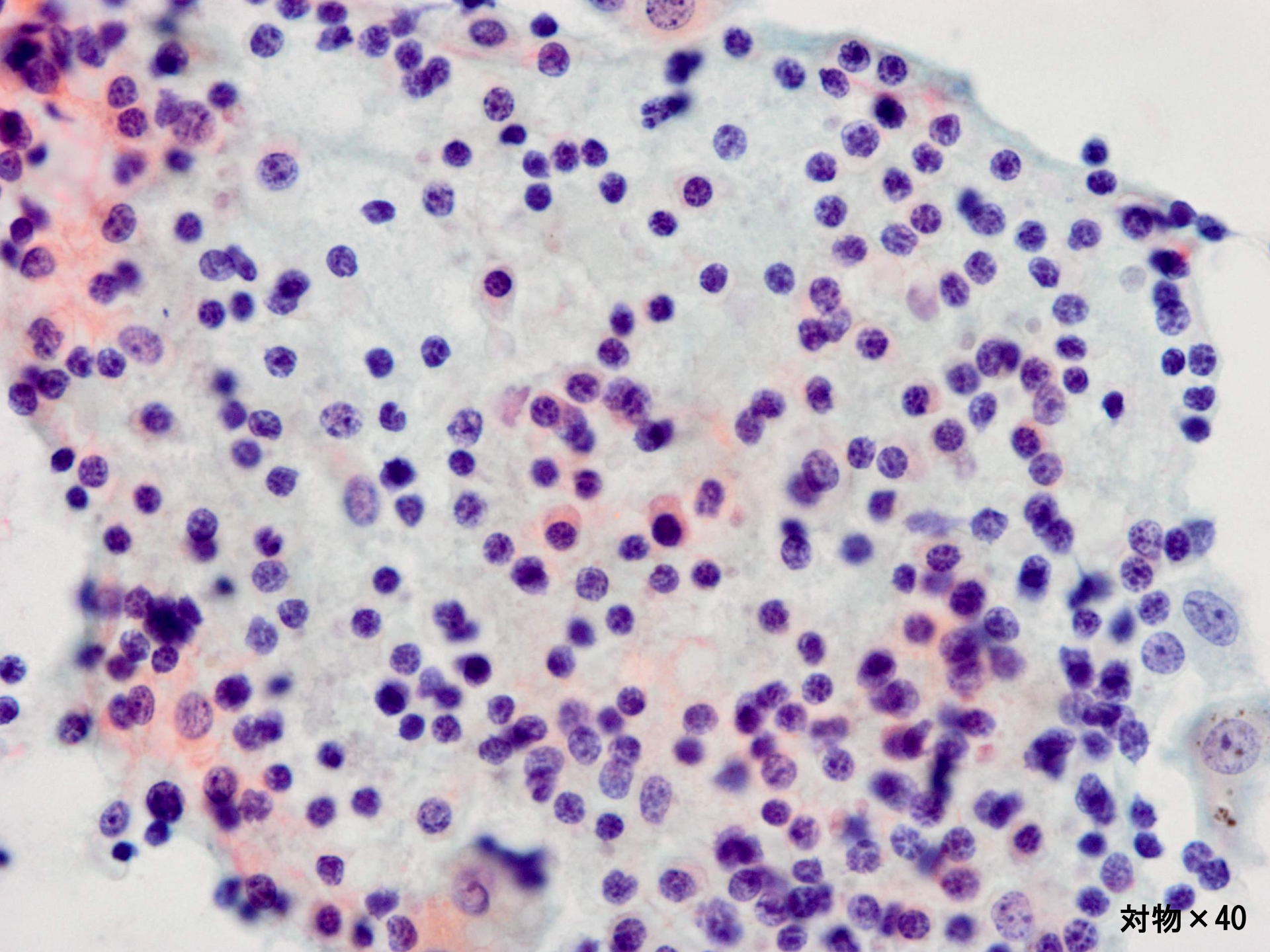
長崎大学病院 病理部

安倍 邦子

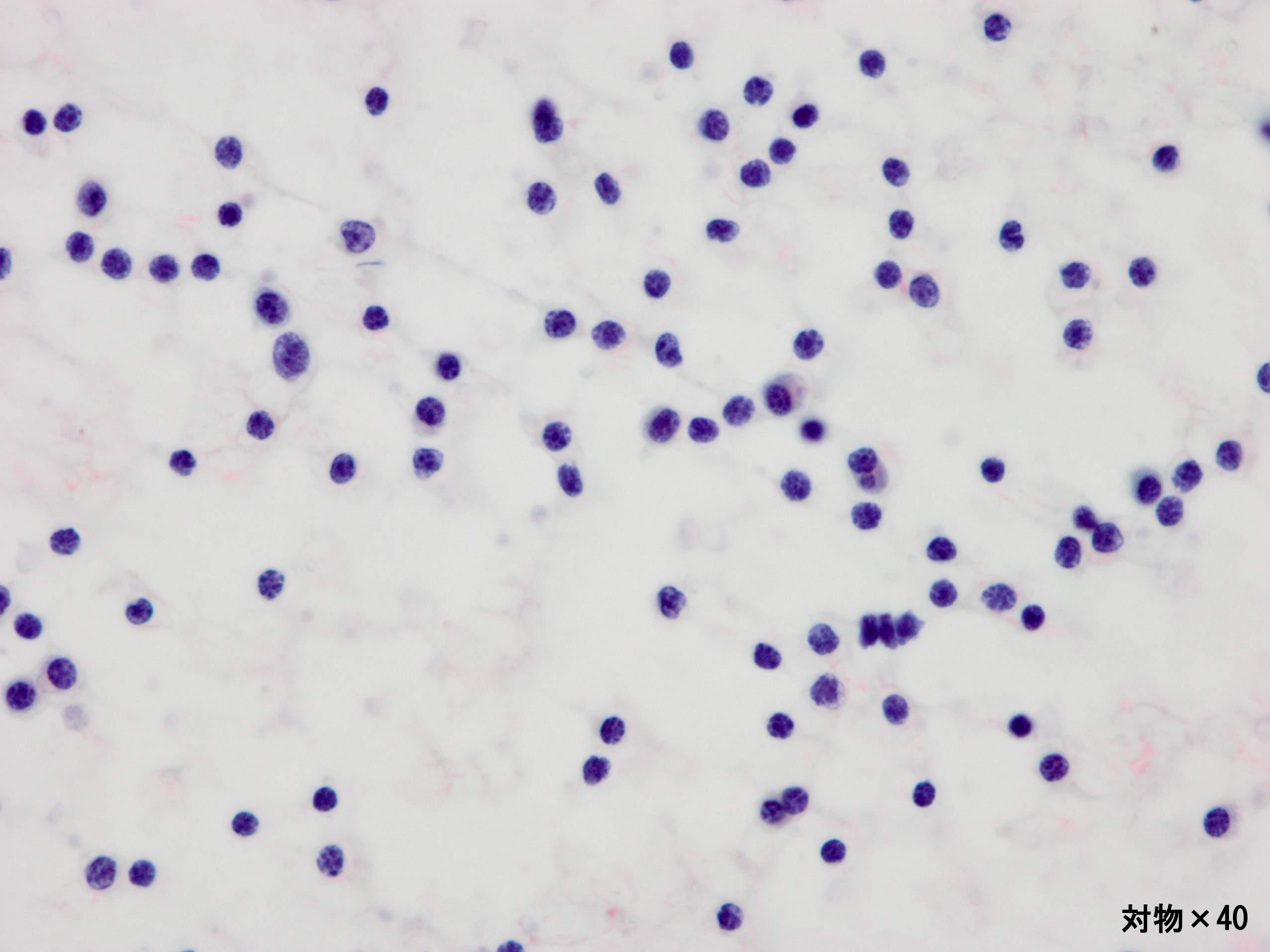
患者	70歳 女性
検体	気管支擦過
染色	パパニコロウ染色, ギムザ染色
現病歴	生来健康 原爆検診にて, 右中肺野外側に2cm大の 結節影を指摘され, 精査. 咳嗽や胸痛などの症状は特にない. TBLBで確定診断には至らず, 右S6の部 分切除術施行される. 標本は術前の気管支擦過細胞診である.



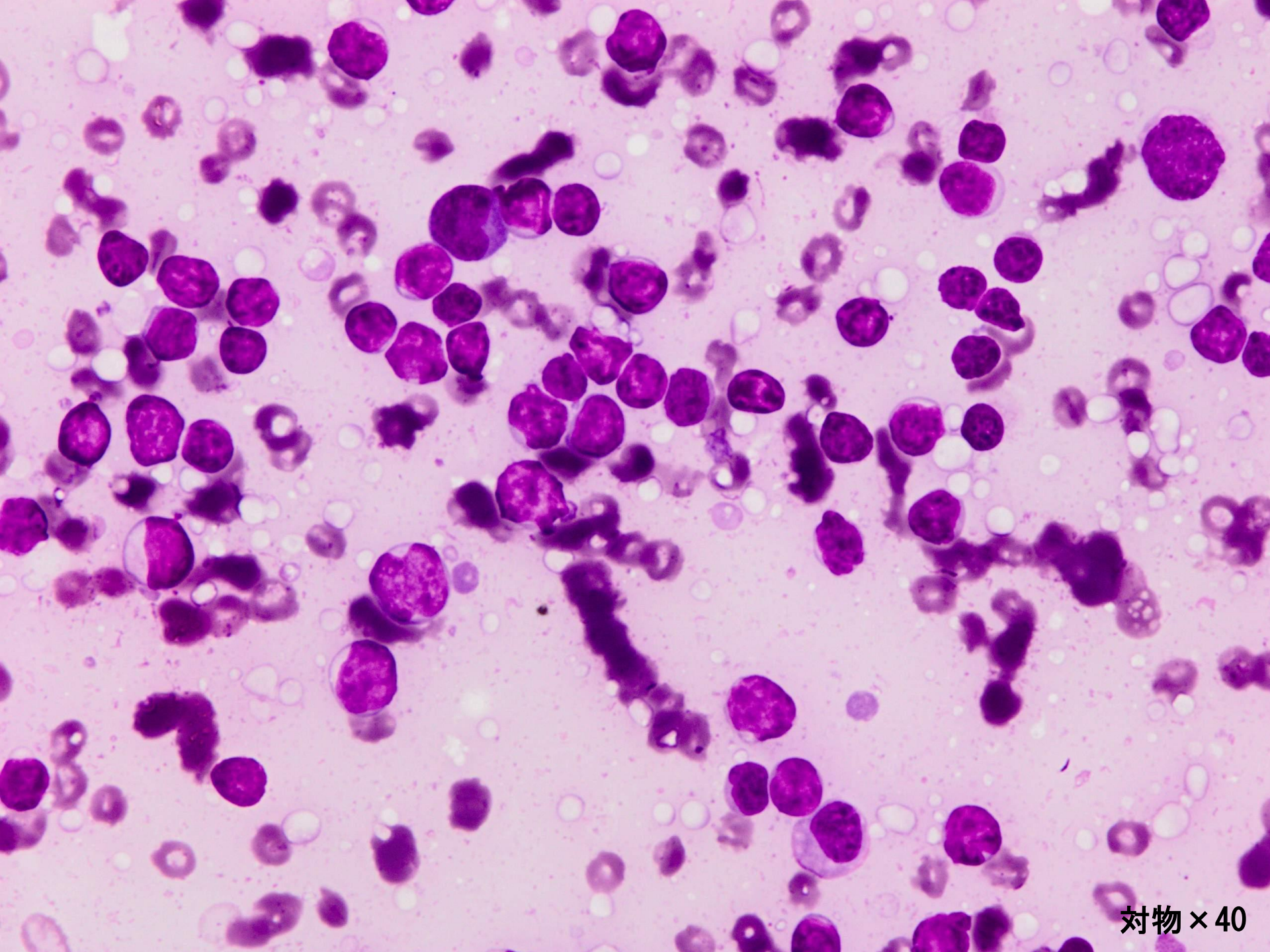
対物×10



対物 × 40



対物 × 40



対物 × 40

# 選択肢

1. 小細胞癌
2. 間質性肺炎
3. クリプトコッカス症
4. 肺結核
5. 悪性リンパ腫


# 解答

1. 小細胞癌
2. 間質性肺炎
3. クリプトコッカス症
4. 肺結核
5. 悪性リンパ腫



# 症例3 体腔液

島松 一秀

 地方独立行政法人 大牟田市立病院

病理診断科

症例： 72歳、男性

採取部位：腹部

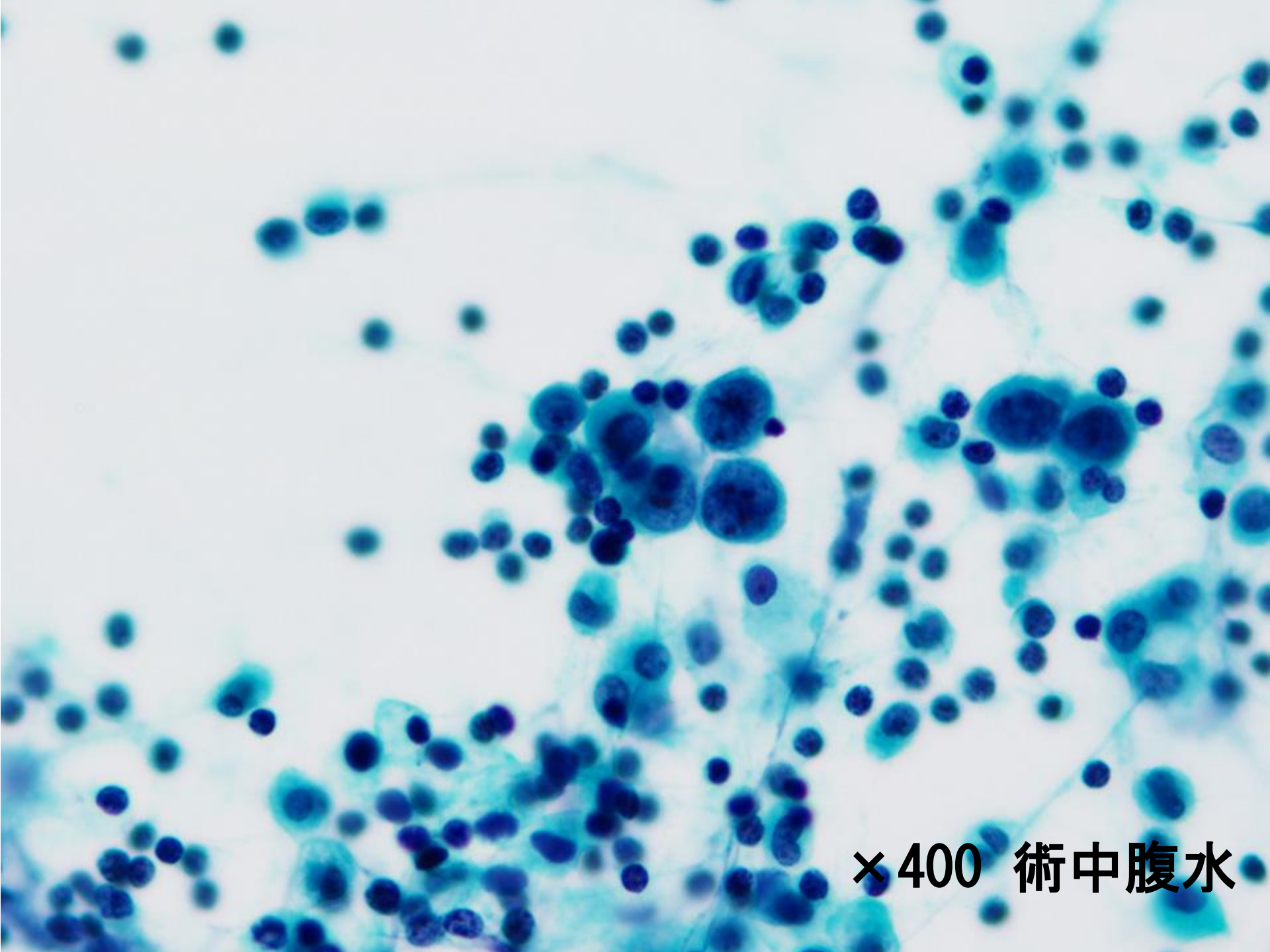
採取方法：術中腹水、腹水穿刺

染色： パパニコロウ染色

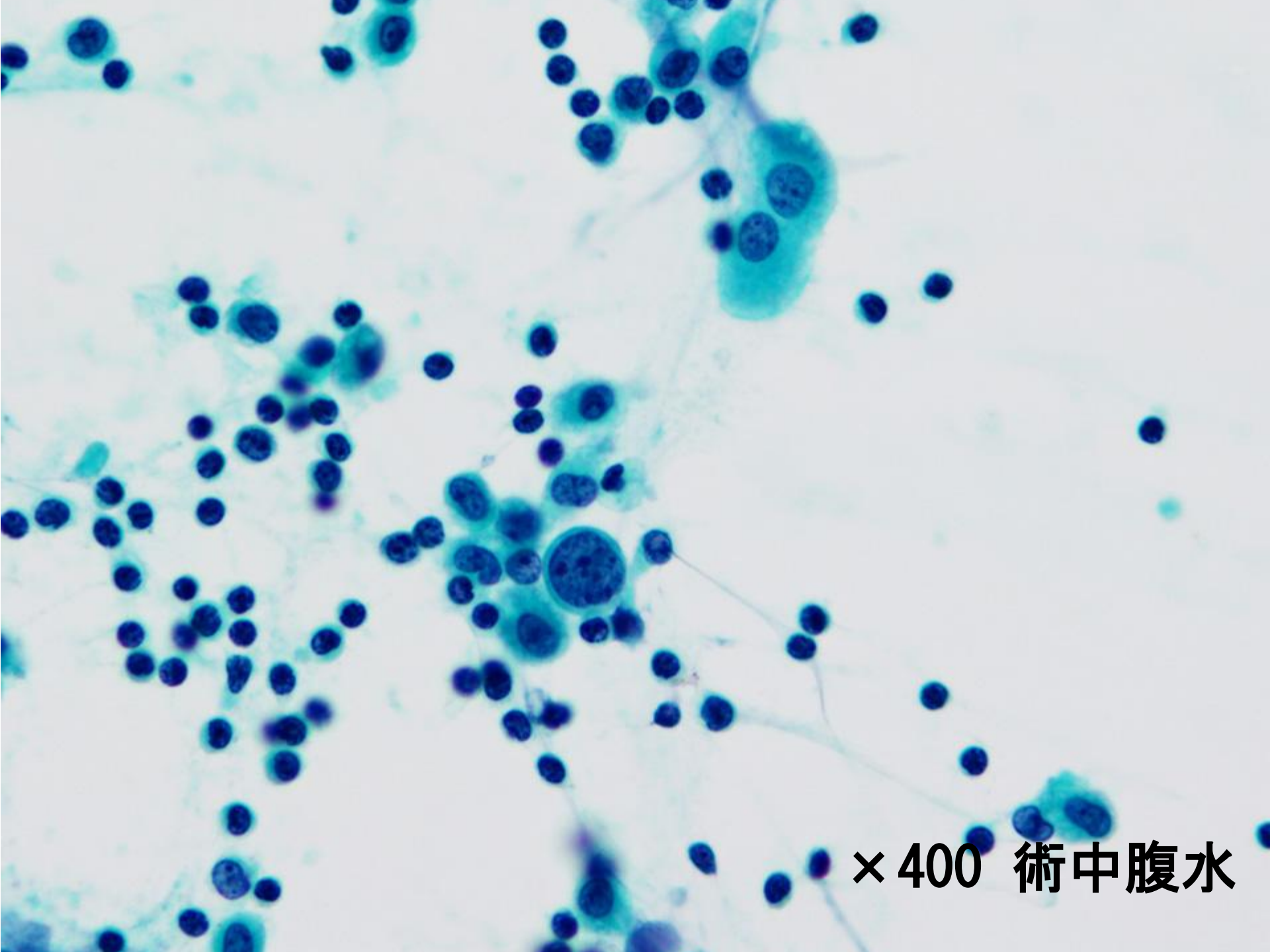
現病歴：

右下腹部痛を自覚し、下部消化器内視鏡にて肝彎曲部の全周性肥厚を指摘された。右半結腸切除術が施行され、その時の肉眼(写真1)、術中腹水細胞診(写真2, 3)、術後約5ヶ月(化学療法併用中)の腹水穿刺細胞診(写真4)を示す。腫瘍マーカー(初診時)は、CA19-9 981 U/ml、CEA 23.8 ng/mlであった。

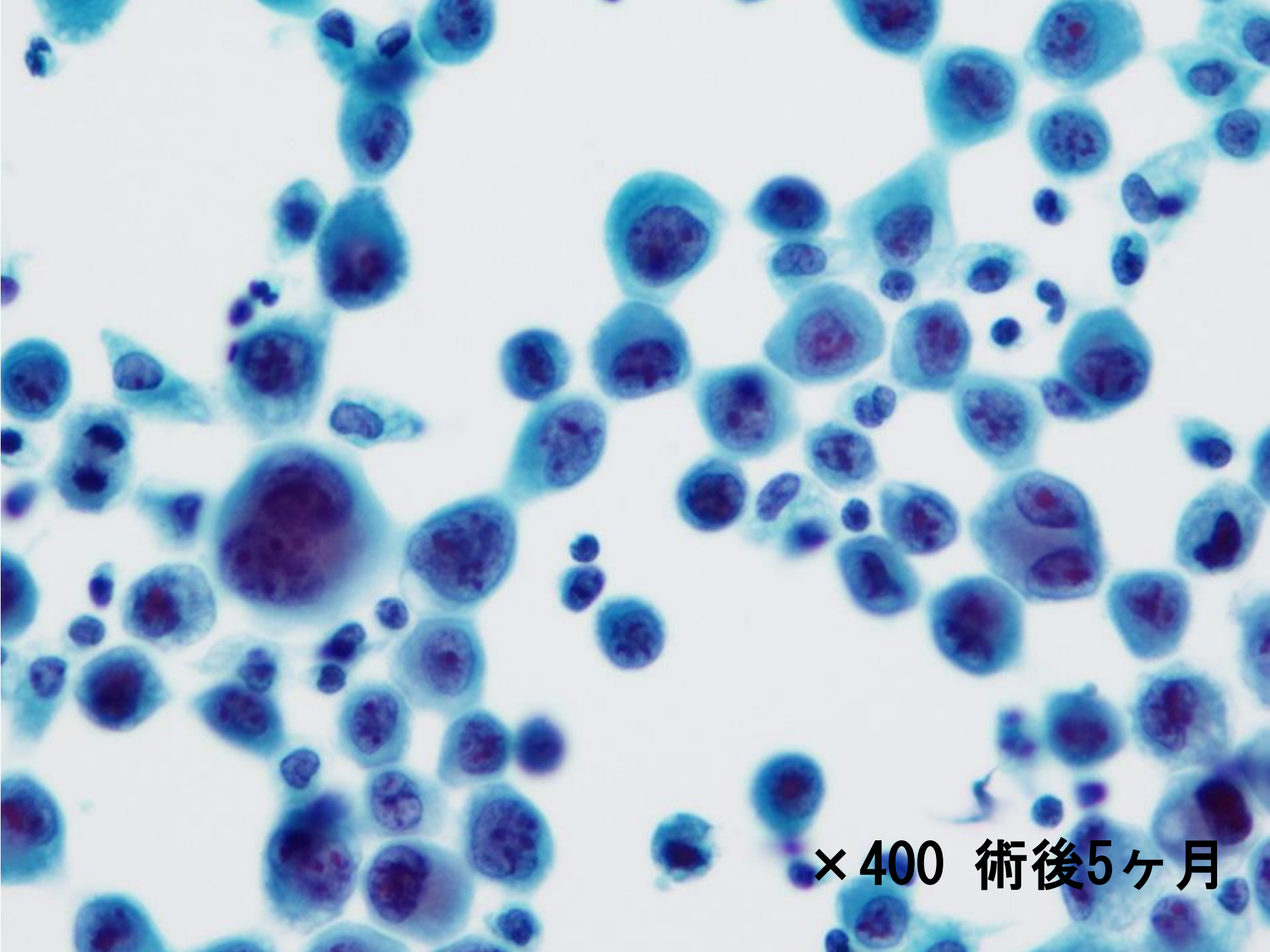




× 400 術中腹水



× 400 術中腹水



× 400 術後5ヶ月

# 選択肢

写真1～4より推定される細胞診断名は？

- 1) 反応性中皮細胞(術中腹水)と  
低分化型腺癌(術後5ヶ月)
- 2) 反応性中皮細胞(術中腹水)と  
低分化型扁平上皮癌(術後5ヶ月)
- 3) 悪性リンパ腫
- 4) 内分泌細胞癌
- 5) 悪性中皮腫

# 解答

写真1～4より推定される細胞診断名は？

- 1) 反応性中皮細胞(術中腹水)と  
低分化型腺癌(術後5ヶ月)
- 2) 反応性中皮細胞(術中腹水)と  
低分化型扁平上皮癌(術後5ヶ月)
- 3) 悪性リンパ腫
- 4) 内分泌細胞癌
- 5) 悪性中皮腫



# 症例4 乳腺

有馬 信之

熊本市民病院 臨床病理科

## 症例(46歳、女性)

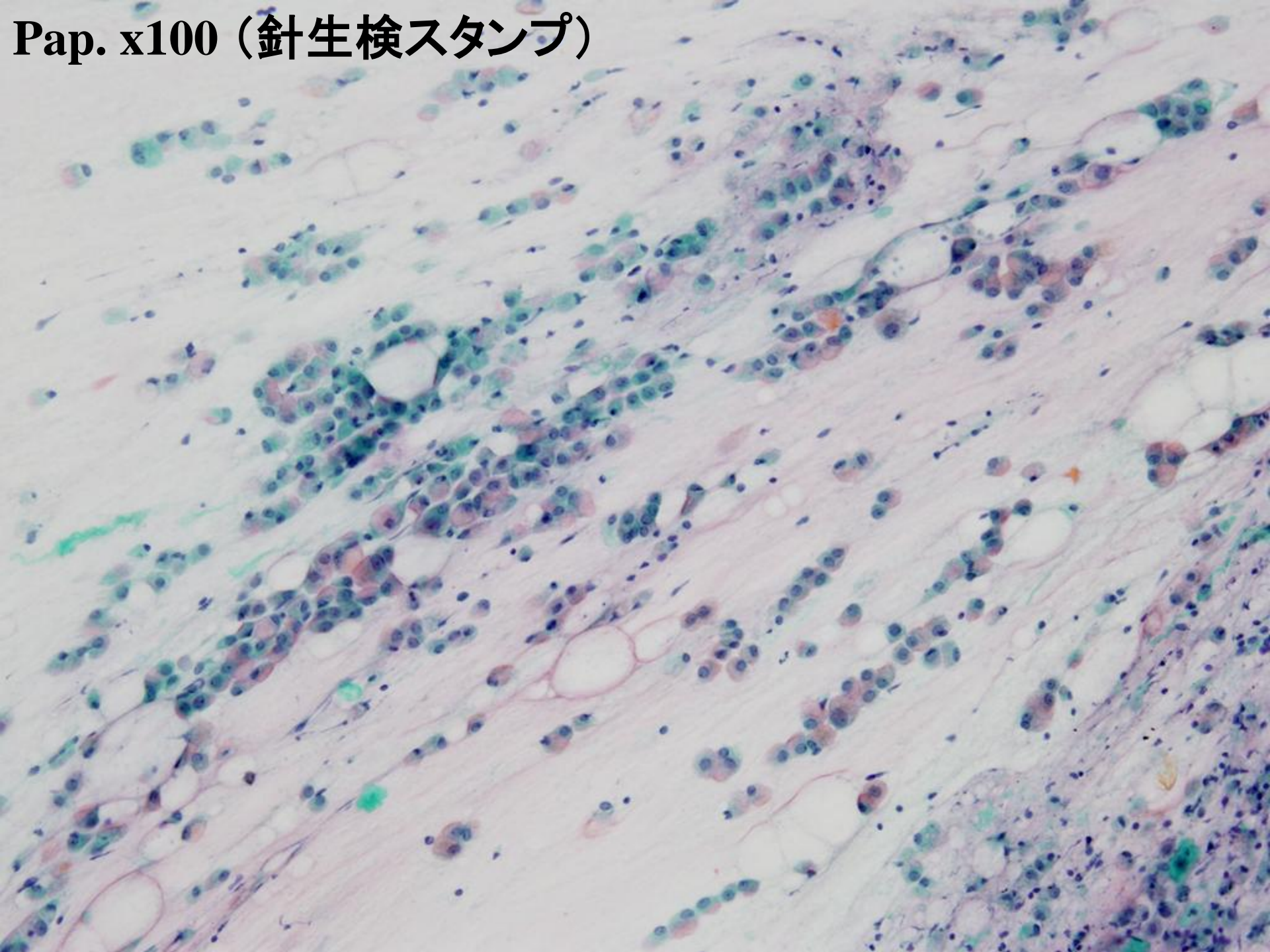
**採取部位:左乳房**

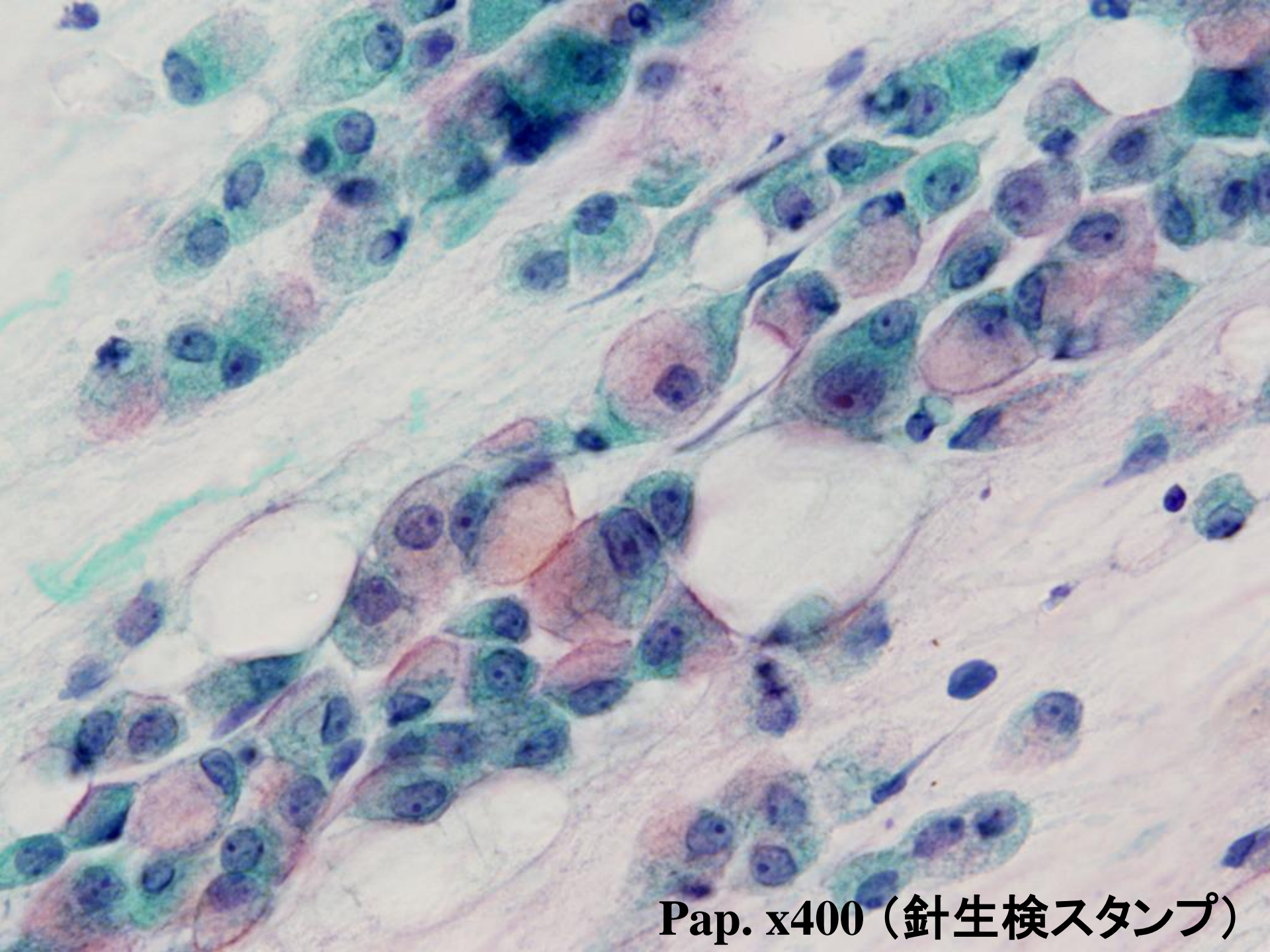
**採取方法:針生検スタンプ法、穿刺吸引法**

**染色: Pap 染色**

**現病歴: 2年前に左乳房のしこりを自覚するも放置。  
2ヶ月前に検診の超音波検査にて要精査となり、  
1ヶ月前に針生検が行われた。針生検のスタンプ標  
本と摘出乳腺の穿刺吸引細胞診を供覧する。**

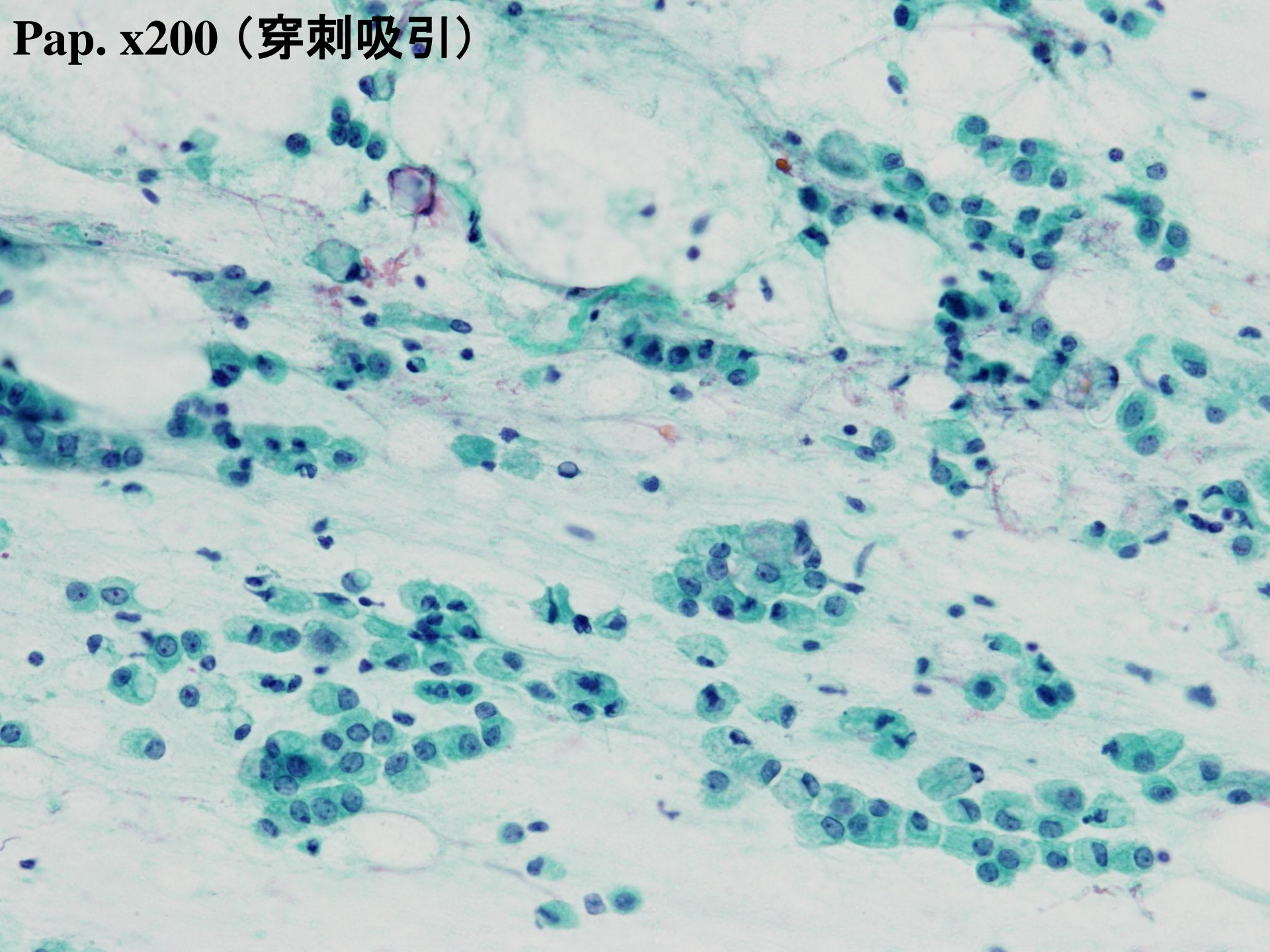
Pap. x100 (針生検スタンプ)



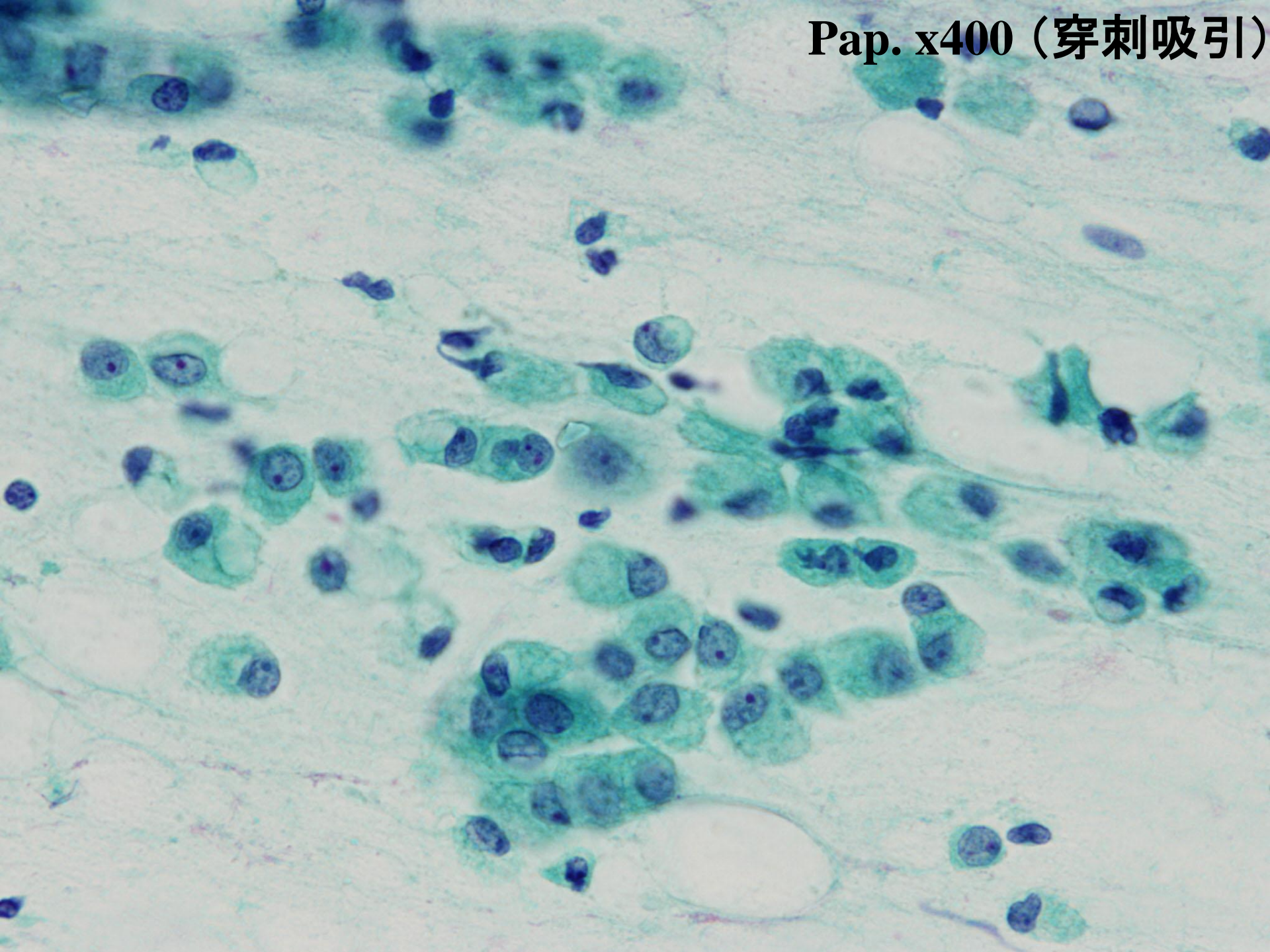


Pap. x400 (針生検スタンプ)

Pap. x200 (穿刺吸引)



Pap. x400 (穿刺吸引)



# 選択肢

- 1 Glycogen-rich clear cell carcinoma
- 2 神経内分泌癌
- 3 胃癌の転移
- 4 浸潤性小葉癌
- 5 硬癌

# 解答

- 1 Glycogen-rich clear cell carcinoma
- 2 神経内分泌癌
- 3 胃癌の転移
- 4 浸潤性小葉癌
- 5 硬癌



# 症例5 泌尿器

加島健司

大分大学医学部附属病院病理部

症例： 40歳代 男性

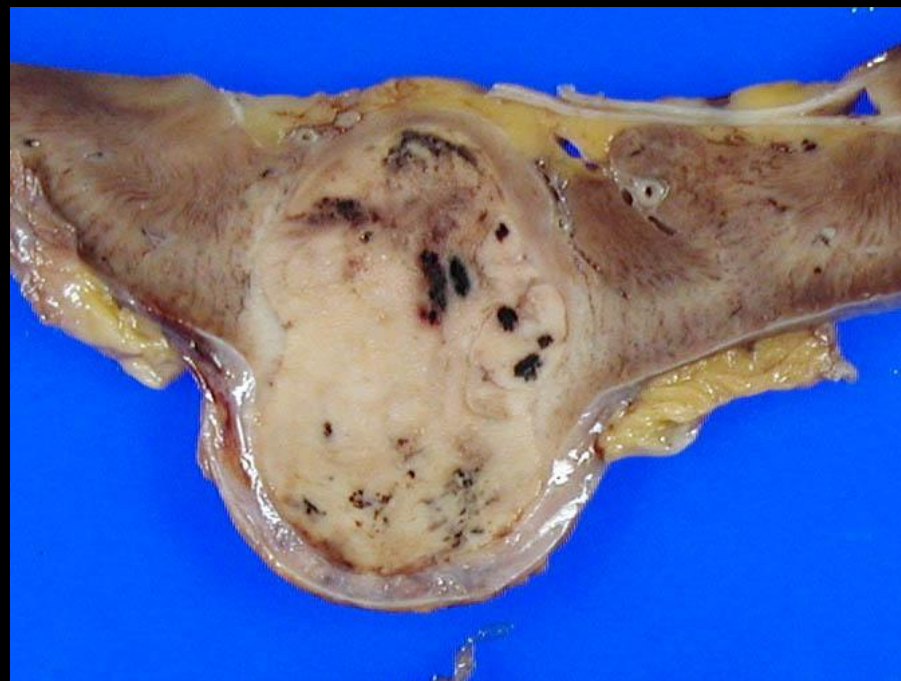
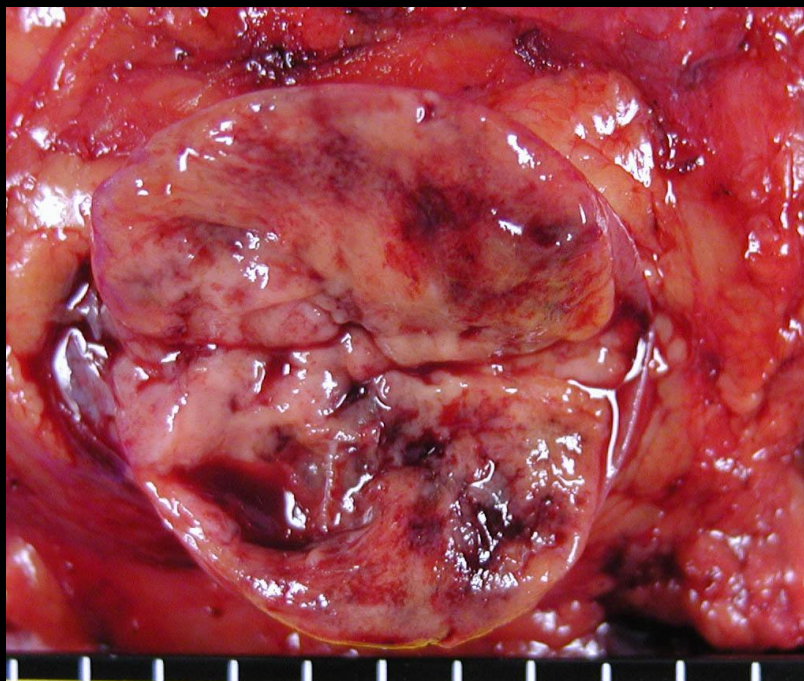
採取部位： 右腎臓

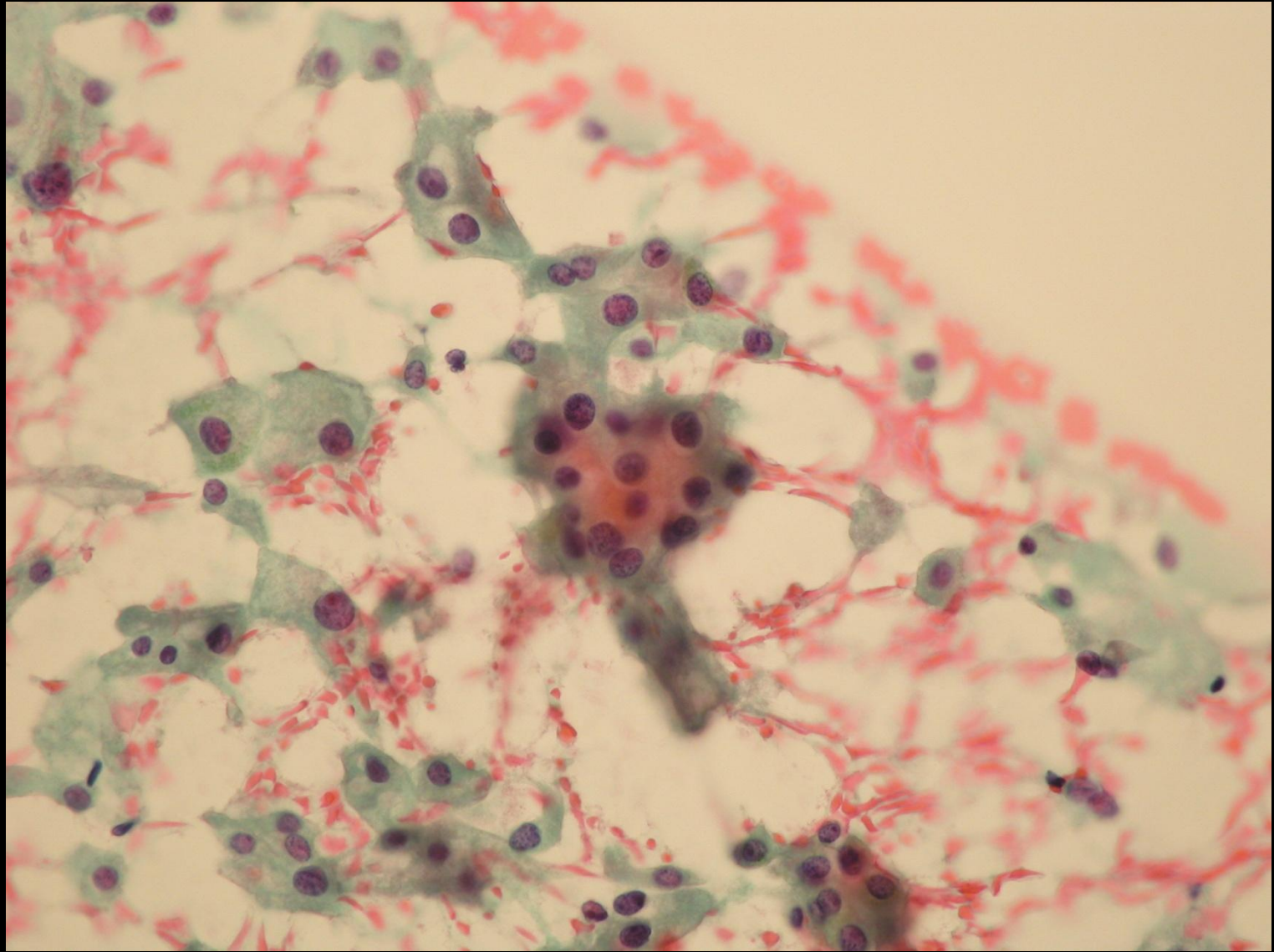
採取方法： 腫瘍捺印細胞診

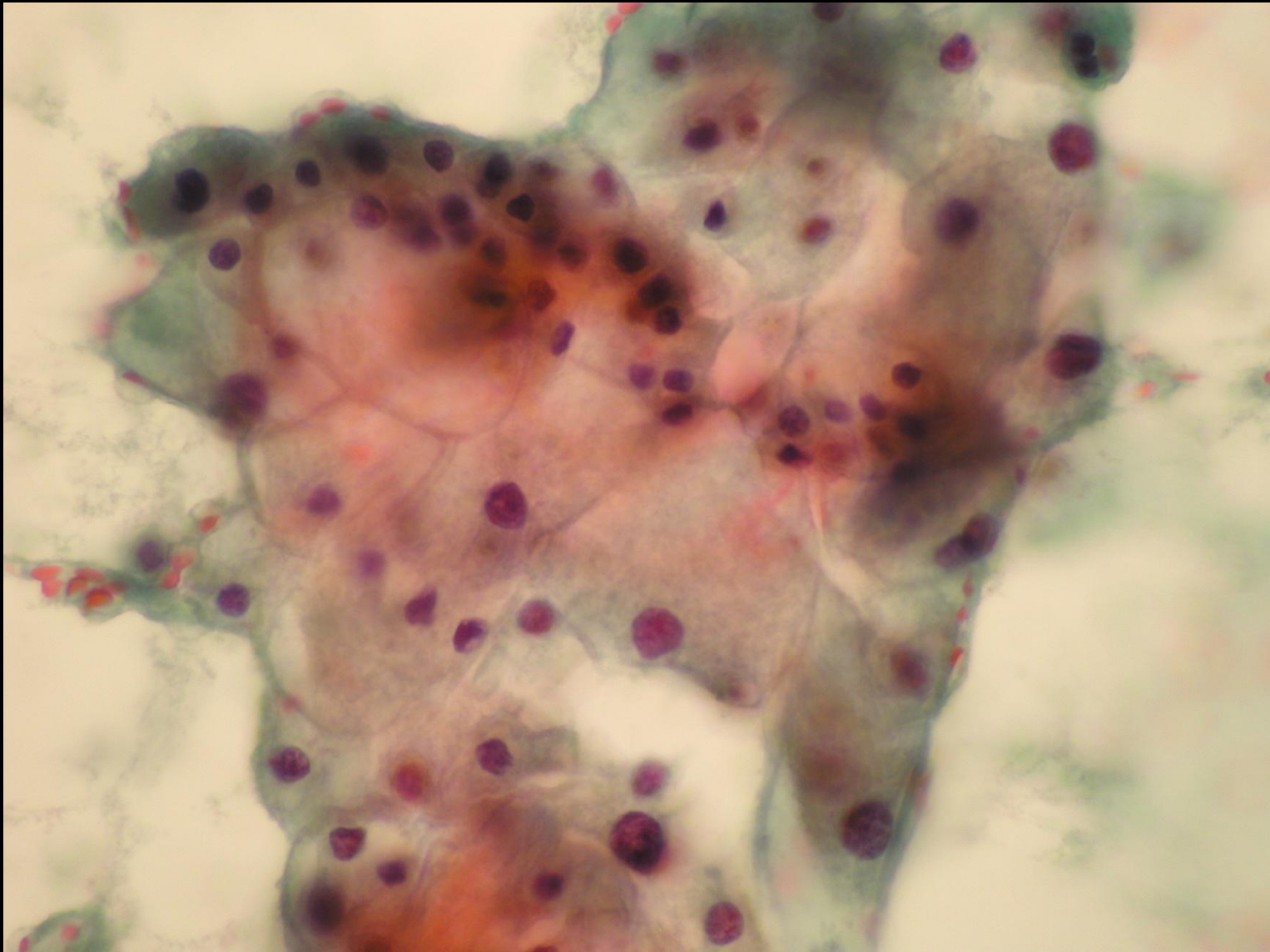
染色： パパニコロウ染色

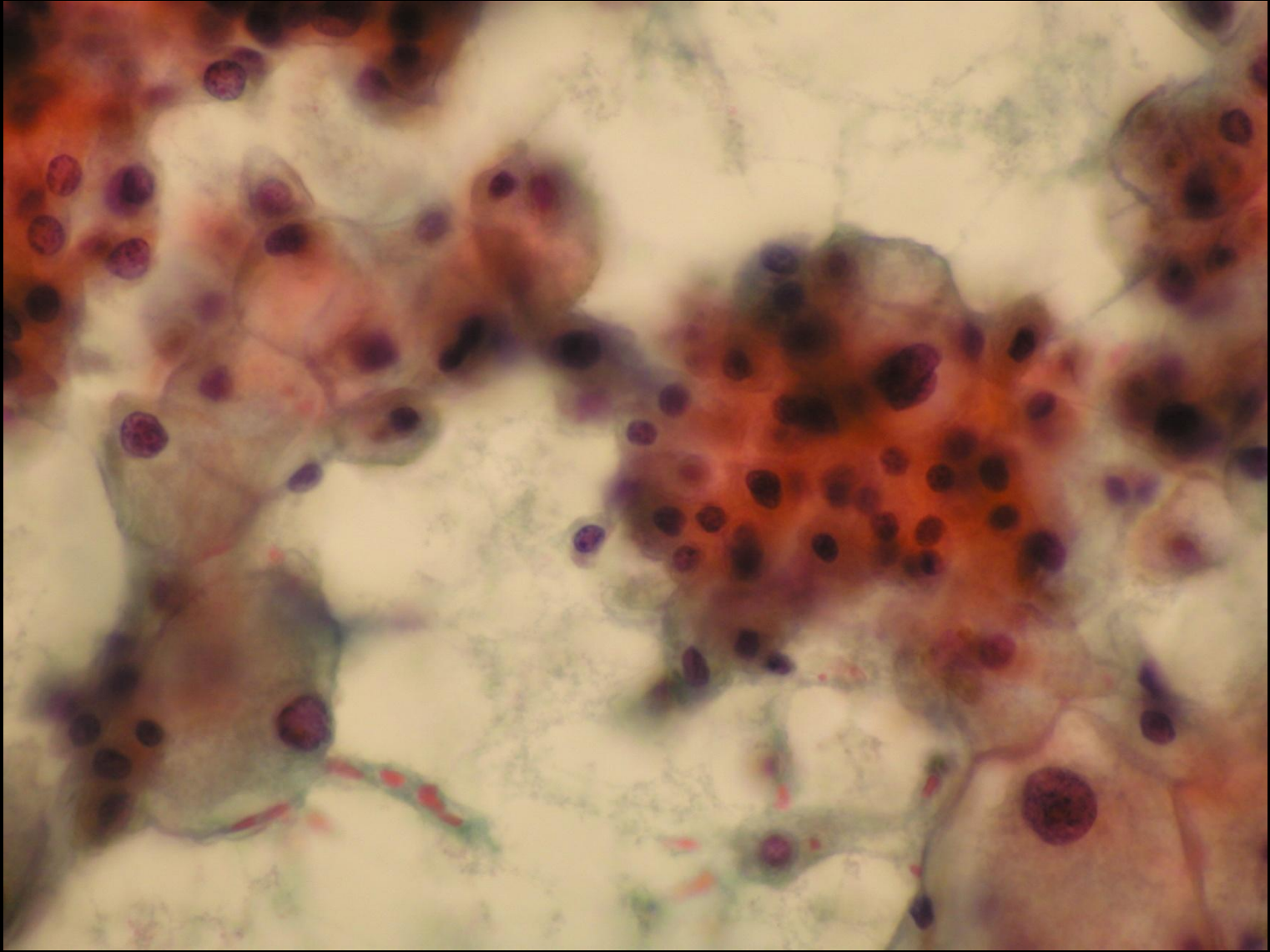
現病歴： 超音波・CT検査にて、右腎臓内に約3cm大の充実性腫瘍が認められた。MRI検査では造影効果は不均一であった。腎細胞癌の診断の下、腹腔鏡下右腎臓摘出術が施行された。

# 病変の肉眼像









# 選択肢

1. 淡明細胞癌
2. 乳頭状腎細胞癌
3. 嫌色素細胞癌
4. オンコサイトーマ
5. 黄色肉芽腫性腎盂腎炎

# 解答

1. 淡明細胞癌
2. 乳頭状腎細胞癌
3. 嫌色素細胞癌
4. オンコサイトーマ
5. 黄色肉芽腫性腎盂腎炎